

地域で支え合いながら目指した 熊本地震からの生活再建

「皆さんの生活再建を見届けられて、ほっとしています」と話すのは、甲佐町地域支え合いセンターの設置当初から生活支援員として被災者の生活再建に取り組んできた河嶋順子さん（古閑区）。

同センターは、熊本地震で被災した仮設住宅入居者等の生活再建を支援するために町が設置。平成28年10月から高齢者や障がい者の独居世帯、ひとり親世帯などを中心に、日常生活の支援が必要な本町



村上 浩二さん

Murakami Koji

〔上豊内区〕

井上 誠也さん

Inoue Seiya

〔上早川一区〕

鳴瀬 香代子さん

Naruse Kayoko

〔東寒野区〕

河嶋 順子さん

Kawashima Junko

〔古閑区〕

西口 望江さん

Nishiguchi Mie

〔御船町〕

甲佐町地域支え合いセンター / 平成28年熊本地震で被災した仮設住宅等に
入居する高齢者や子育て世帯の生活再建を支援するため、見守り活動や地域
との交流等をサポートを実施。生活再建が進んだため本年3月をもって閉所。

の被災者を支えてきた。

多い時には450世帯を超える被災者の見守り活動などを行っていたという相談員の西口望江さん（御船町）は、「皆さんが孤立しないように、地域交流の場をつくるなど生活再建に向けた一体的な支援を進めてきました。被災者の皆さん1人ひとりと丁寧に向き合うことを心掛けていましたね」とこれまでの活動を振

り返る。

「仮設住宅の入居者から頂いた『いつもありがとう』というねぎらいの言葉が励みになっていました」と語る鳴瀬香代子さん（東寒野区）は「皆さんの笑顔に助けられることも多く、私も相談員として楽しく活動することができました」と笑顔をみせる。

「新型コロナウイルスの影響で、これまでの活動で大切にしてきた支え合いの機会が失われました。孤立してしまいう人が出ないかと心配でしたが、地域で再出発された被災者の姿を見て安堵しています」と話すのは井上誠也さん（上早川一区）。

センター長の村上浩二さん（上豊内区）は「被災者の皆さんが新しい一歩を踏み出すためのお手伝いをしてきましたが、このコロナ禍でこれまでの地道な活動が実を結んでいるのを実感しました。今年3月で私達の活動は終了しますが、今後は住民のひとりとして地域の支え合いに携わっていただければ」と被災者の暮らしに優しく寄り添う。

広報 こうさ

2021年（令和3年）2月号
通巻619号